

視覚に障がいのある方等で、広報誌の音訳テープを聞いてみたいと思われる方は、社会福祉協議会までお知らせ下さい。

社会福祉のみ

第61号

ほほえみ



のみ社会福祉法人連絡会設立総会

【能美市社会福祉協議会】 【南陽園】 【泰耀】 【なごみの郷】 【湯寿会】 【喜峰会】 【陽翠水】 【佛子園】



目次

- P.2 令和元年度収支決算／
理事・監事・評議員紹介
- P.3 社会福祉法人連絡会設立総会／
地域福祉委員会活動連絡会報告
- P.4 第3次能美市地域福祉活動計画／
ふれあい弁当見守り訪問
フードドライブ報告・次回案内
- P.5 地域福祉委員会特集／
赤い羽根共同募金 募金箱設置の
協力店募集／福耳ネット会員募集
- P.6 相談日のお知らせ／
これからの予定／寄付御礼
- P.7～8 能美市ボランティア・
コミュニティ活動支援センターだより

のみ社会福祉法人連絡会設立趣意書

私たち、能美市内の社会福祉法人は、これまでも公益性・非営利性を貫いた法人として、地域福祉の向上を図るという使命を果たすべく各法人は積極的な事業運営に取り組んできました。

そうした中、平成28年に成立した社会福祉法第24条第2項の規定に基づき、平成28年4月から地域における公益的な取り組みが社会福祉法人の責務として位置づけられたことを受け、社会福祉法人が地域福祉の担い手として、各法人の取り組みに加え、地域課題の把握や各法人の連携・協働による公益活動の実施などを進めていくことになりました。

近年、複雑・多様化する地域課題について、より積極的に、より効果的に、より幅広く地域の福祉ニーズを捉え、それに対応、充れもが暮らしやすい能美市の支え合いの地域の実現に貢献していくためには福祉人材の確保・育成や財源のあり方など、各法人が共通して抱える課題面などの多くの課題を克服していく必要があります。

そのためには、能美市内の各法人がこれまで事業の中で培ってきた専門性や人材及び、各々の地域貢献活動で培ってきた経験を活かしながら協働であると考えます。

私たち、能美市内の社会福祉法人は、各法人の事業を充実させるとともに、地域課題の改善・解決をめざす地域福祉の担い手として、

法改正の趣旨も踏まえ、連携・協働していく仕組みとして、この「のみ社会福祉法人連絡会」を設立するものです。

令和2年7月9日

発起人

社会福祉法人 喜峰会

理事長 森 紀男

社会福祉法人 泰耀

理事長 木出泰雄

社会福祉法人 湯寿会

理事長 前田英一

社会福祉法人 なごみの郷

理事長 荒出 隆

社会福祉法人 南陽園

理事長 荒 隆

社会福祉法人 陽翠水

理事長 岸井裕雄

社会福祉法人 佛子園

理事長 鎌谷良一

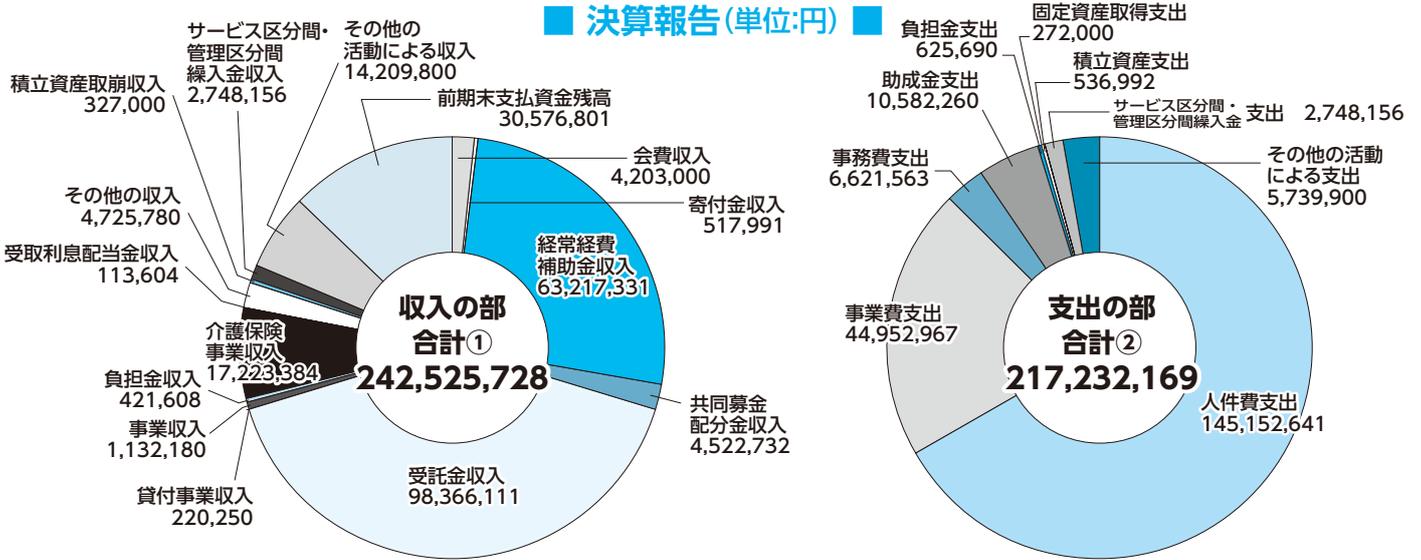
社会福祉法人 能美市社会福祉協議会 会長 伴健博

(以下略)

令和元年度 収支決算

6月10日(水)に理事会、6月29日(月)に定時評議員会が開催され、令和元年度の事業報告・決算等が承認されました。

■ 決算報告(単位:円)



当期末支払資金残高(①-②) 25,293,559円

※詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

理事・監事・評議員

6月18日(木)に評議員選任・解任委員会、6月29日(月)に定時評議員会が開催され、理事と評議員がそれぞれ補充選任されました。

理事		監事		評議員	
氏名	所属	氏名	所属	氏名	所属
重田 勝年	町会連合会	山内 孝志	(NPO)作業所連合	橋場 里志	町会連合会
生田 絹代	民生委員児童委員協議会			大石 良能	町会連合会
田中 玉美	ボランティア連絡協議会			中村 三朗	民生委員児童委員協議会
高塚 亮三	(NPO)老人介護 マトリックスとまり木			山崎 静男	民生委員児童委員協議会
石田 晴美	婦人団体協議会			近藤 沙夜里	ボランティア連絡協議会
山本 正人	商工会			栗山 よしみ	ボランティア連絡協議会
				北村 精一郎	社会福祉法人湯寿会
				越村 和広	社会福祉法人陽翠水
				谷田 好子	婦人団体協議会
				上田 美智子	婦人団体協議会
				中山 昇	自治公民館協議会
木田 泰弘	医師会	熊野 与子	会計課(会計管理者)	吉川 香里	社会教育委員会
佐々木 ひふみ	健康福祉部			中野 孝子	市立辰口中央小学校
伴場 博夫	学識経験者			坂本 孝一	老人クラブ連合会
勝山 與四久	社会福祉協議会			山本 外茂夫	身体障害者福祉協議会
新川 葉子	社会福祉協議会			荒田 正信	手をつなぐ育成会
				高木 祥子	母子寡婦福祉連合会
				中西 幸一	商工会
				河村 恵美子	介護を考える会
				山下 実千代	我が事丸ごと推進課
				川本 素子	福祉課

(敬称略)

のみ社会福祉法人連絡会 設立総会

7月9日(木) 能美市役所大会議室

平成28年成立の改正社会福祉法により、地域における公益的な取り組みが社会福祉法人の責務として位置づけられたことを受け、各法人の既存の取り組みに加え、さらに地域課題の把握や法人の連携・協働による公益活動が求められることとなりました。市内の8法人がこれまで事業の中で培ってきた専門性や人材及び、各々の地域貢献活動で積み重ねてきた経験を活かし合うことが重要であり、各法人の事業を充実させるとともに、地域課題の改善・解決をめざす地域福祉の担い手として、法改正の趣旨も踏まえ、連携・協働していく仕組みとして「のみ社会福祉法人連絡会」が設立されました。総会では、湯寿会前田英夫理事長を会長に選出したほか、規約、事業計画及び、予算が承認され、設立趣意書の署名調印式が行われました。総会後には市長とのタウンミーティングも行われました。

総会後には、初めて連携し、取り組んだ「法人内フードドライブ」で集められた食品629品143kgが持ち寄られ、子ども食堂や生活に困っている方への支援につなげてほしいと、前田会長から能美市社会福祉協議会へ寄付されました。

のみ社会福祉法人連絡会

役員任期：令和2年7月9日～令和4年3月31日

会 長	前田 英夫	湯寿会 理事長
副会長	荒田 稔	なごみの郷 理事長
	仲井 培雄	陽翠水 理事長
監 事	木田 泰弘	泰耀 理事長
	伴場 博夫	能美市社会福祉協議会 会長
	森 紀喜	喜峰会 理事長
	雄谷 良成	佛子園 理事長
	表 修司	南陽園 理事長

事務局：能美市社会福祉協議会



連携して集めた食品を持ち寄り、寄附しました。

令和2年度 地域福祉委員会活動連絡会

が開催されました

7月28日(火)から31日(金)の4日間にわたり、各地区で市、市社協、市町会連合会の共催で、地域福祉委員会活動の拡充を目的とする連絡会が開催され、町(内)会長、民生委員、児童委員、福祉推進員など合わせて189名の方が参加されました。

コロナ禍である今、自らの地域の福祉課題を発見し、解決策を考える地域(地区)福祉委員会の活動において、何ができるのか、何をしたらよいかを共に考える機会となりました。

市内各町(内)会でのいきいきサロンや見守り活動において、感染予防対策として、3密を避ける工夫や配慮の実例が紹介され、活動再開の時の参考になるよう情報を共有し、サロンのように、集まるだけでなく、いろいろな方法で見守り活動をあせらず、進めていこうと話し合われました。

また、本会からは、生活支援の貸出車両「つなぐ号」のモデル事業の紹介、市からは「のみ地域力強化支援ファンド」についての説明もあり、「自分たちの地域で何ができるのかを皆で話し合うことが大切」、「買物の支援について関心があり、今後の活動の参考にしたい」等の感想が聞かれました。



参加者は、withコロナの今だから、できることを考えました

第3次能美市地域福祉活動計画3年目の

取り組みが始まりました!!

◆ 6月26日(金)寺井地区公民館大ホールにおいて、第3次能美市地域福祉活動計画を推進する「ここに寄り添い合う人づくり委員会」・「見守り助け合い推進委員会」の委員30名に委嘱状が交付されました。
町会・公民館・老人クラブ連合会・壮年団・婦人団体協議会・商工会・福祉団体・福祉施設などから推薦された30名の委員が、各委員会の目標に沿って、協議を進めていきます。

「ここに寄り添い合う人づくり委員会」のめざすこと

・ 地域の中で気軽に悩みを相談したり、話し合える場・集いの場づくりを進めます。

・ 福祉教育の充実に向けての機会づくりを進めます。

「見守り・助け合い推進委員会」のめざすこと

・ 地域の中で気軽に悩みを相談したり、話し合える場・集いの場づくりを進めます。

・ 多様な人材がボランティアや助け合い活動に関わることを進めます。

◆ 7月20日(月)には2委員会が連携し、住民一人ひとりの存在が認められる居場所づくりからの信頼社会の構築に向けて、第3次計画の基本目標である「助けたり、助けられたり、私らしくいきいきと幸せ感を持つて暮らせる地域づくり」を達成するため、住民が取り組むべきことを話し合う「ここに豊かな地域づくりの会」が行われました。



委嘱状を受け取る委員の皆さん

民生委員・児童委員等が ふれあい弁当の利用者へ 見守り訪問をしました



大成町民生委員・児童委員より
お弁当を受け取る利用者の方

コロナ禍の中、感染拡大防止の観点から、毎月実施しているボランティアによる手作りの『ふれあい弁当』の配達を休止していましたが、5月と6月各1回ずつ民生委員・児童委員と本会職員が、のみ商業協同組合加盟店の協力を得て、作ってもらったお弁当を利用者へ届けました。利用者の健康状態を確認するとともに、熱中症予防の飲料水も添え、注意喚起を呼びかけました。



フードドライブ 第1弾の報告

6月6日(土)・7日(日)、ふれあいプラザにて、市内で初めてフードドライブを実施しました。2日間でご寄付いただいた食品113件、約430kgを、くらしサポートセンターのみを通して、支援を必要としている方や子ども食堂等にお届けし役立ててもらいました。ご協力ありがとうございました。

また、助け合いのしくみとしてフードドライブを充実させていくために、関係機関や団体等がつながりあい、7月27日(月)に第1回「のみフードドライブ連絡会」を立ち上げました。連絡会では、今後、フードドライブの運営方法や協力体制について意見交換し、「生活応援」の活動について理解を深めていく予定です。



受付時の様子

第2弾

もったいないから
あいがどうへ

フードドライブ にご協力 お願いします!

“フードドライブ”とは、ご家庭で眠っている食品を持ち寄り、フードドライブを通して、必要としている方々に寄付する活動です。

【食品の受付】

[実施日時] 令和2年9月26日(土)、9月27日(日)
2日間とも 10:00~12:00

[受付会場] ふれあいプラザ (寺井町た8番地1)

【ご寄付いただきたい食品(限定)】

★賞味期限が1か月以上残っている未開封の常温保存食品

- ・ 米(白米、玄米) ・ 菓子 ・ 缶詰 ・ 調味料
- ・ インスタント食品 ・ レトルト食品 ・ フリーズドライ食品
- ・ 乾麺(そうめん、うどん、そば、パスタ)
- ・ 飲料(ジュース、コーヒー、紅茶)

ご寄付いただいた食品は、支援を必要としている方や子ども食堂等お配りします。

北町地区福祉委員会(寺井町)

寺井町では、横町・山道・中町・九谷町と北町の五地区の福祉委員会が、それぞれの地区にあった特色ある活動を行っています。この五地区を束ねた寺井町地域福祉委員会では、年2回委員会を開催し、活動報告をして情報の共有をしています。

北町地区福祉委員会は、寺井町の中では一番大きく、人口は約1,500人で6町内会があります。65歳以上の方が、30%を超えた町内会もあります。当委員会の構成は、町役員2名・町内会長6名・民生委員児童委員2名・見守りメンバー10名で、見守り・声かけを中心に、誰もが健康で安全な温かみのある地域を理念に活動しています。

活動内容としては、2ヶ月に一度、委員会を開催して見守りメンバーの方から、75歳以上の方と見守りが必要と思われる方の日常生活活について、「転んで怪我をしたが大丈夫です。」「どこそこが悪くてどこへ入院した。」「デイサービスを利用した。」「町外の息子が帰って来ていた。」など、現状を報告して貰います。これらの情報について支援が必要か全員で気になることを検討し、関係機関の支援が必要であれば民生委員児童委員が取り次ぎなどをします。

又、交流会につきましては、年二回、地区内の称仏寺のご厚意で、地域の中心に位置して集まりやすいお寺で開催しています。50名位の参加者で、一回目はプロの落語家による落語会と昼食を毎年開催し、二回目は演芸と昼食、ビンゴゲームをして楽しんで貰います。交流会の回数を増やしてほしいとの要望は有りませんが、委員会としては今後、出前講座や町外への観光等回数を増やし、仲間づくりや孤立者が出ないようにしたいと思えます。交流会の課題としては、参加者の固定化や今後の活動資金などが上げられます。

近年、フレイルと言言葉聞くようになりました。フレイルとは、高齢になって筋力が低下して歩く速度が遅くなったり、食事が簡素になって体重が減ったりの身体的なものと、外での活動が面倒くさくなったり、困窮も含め、精神的社会的なものが重なり、健康と要介護の間のことである状態に向かっている状態のことです。これは、適切な指導、支援があれば元に戻すことができる症候群です。活動を通じ早期発見に気を付け健康寿命が延びるよう努めています。

今は、コロナ禍で大変な状況ですが、少しずつ、委員会の活動について、再開を検討しているところ。一日も早く通常の日常生活になりますよう心から願っています。

(北町地区福祉委員会 吉田 則明)



昨年の交流会の様子

「福耳ネット」 に参加してみませんか?

耳が聞こえない・聞こえにくいという
ことで出掛けることが億劫になっている
方、「福耳ネット」に参加してみませんか?



料理教室の様子

「福耳ネット」は、毎月軽体操やレクリエーションなどで楽しい時間を過ごしたり、日常生活での悩みなど、情報交換の場になっています。コミュニケーションについては、ボランティアのサポートもあります。興味のある方は、まず直接、会場にお越しください。申し込みは不要です。

1日だけの見学でも構いません。

日時：毎月第4水曜日 13時30分～15時

会場：寺井地区公民館

※日時や場所は、月によって変わる場合があります。

【問合わせ】

能美市社会福祉協議会 (TEL 58-6200 FAX 58-6250)

募金箱設置の協力店募集

能美市共同募金委員会では、10月1日から全国一斉に始まる赤い羽根共同募金運動期間中、窓口などに募金箱を設置させていただき、皆様を募集します。

(※募金箱のお届け回収は、委員会が行ないます。)
皆様のご協力を、お待ちしております。

【問合わせ】 能美市共同募金委員会(能美市社会福祉協議会内)

☎ 58-6200



相談日のお知らせ (令和2年9月～11月分)

相談やサロンでは、必ずマスクの着用をお願いします。



新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止となる場合がありますので本会ホームページをご確認願います。

【予約・問合わせ】 暮らしサポートセンターのみ(☎58-6603) ★気軽にお問合せください

● 弁護士無料法律相談 **要予約** 13時30分～15時30分

※相談時間は一人およそ30分、1日4名迄です。

開催日		
9月	8日(火)	23日(水) 29日(火)
10月	8日(木)	19日(月) 29日(木)
11月	10日(火)	16日(月) 30日(月)

開催場所：ふれあいプラザ

● 行政書士無料相談 **要予約** 13時30分～15時30分

※相談時間は一人およそ30分、1日4名迄です。

開催日	
9月	17日(木)
10月	15日(木)
11月	19日(木)

開催場所：ふれあいプラザ

● 心配ごと相談 **申し込み不要** 13時30分～15時30分

民生委員・児童委員や人権擁護委員、行政相談委員が相談員として、住民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言等を行います。(秘密は厳守します)

地区	開催日	開催場所
根上地区	毎月25日(10月は26日)	根上窓口センター
寺井地区	毎月5日(9月は4日)	ふれあいプラザ
辰口地区	毎月15日	辰口福祉会館

● 特例貸付相談

暮らしサポートセンターのみでは、新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金にお悩みの方へ一時的な資金借入等の相談を受け付けております。

- ▶ 緊急小口資金 …… 主に休業された方向け
- ▶ 総合支援資金 …… 主に失業された方や休業が長期間続いている方向け
- ▶ 住居確保給付金 …… 住居を失うおそれのある方に対して、一定期間家賃相当額を支給します。(※求職活動状況についてや、収入、預貯金の要件があります。)

【問合わせ】 能美市社会福祉協議会(☎58-6200) ★気軽にお問合せください

● 親子サロン(ママ友相談)

参加申し込み不要 9時30分～13時30分

妊娠中の方や未就園の子どもとその親・祖父母などが気楽に集い、ふれあいや交流を深めたり、気軽に子育ての相談をしあえるサロンです。参加申し込みは不要です。サロンでは、先輩ママがスタッフとなりママ友相談もしています。

地区	開催日	開催場所
根上地区	水曜日	西二口町公民館(コミュニティセンター)
寺井地区	木曜日	粟生コミュニティセンター
辰口地区	火曜日	岩内コミュニティセンター

● ほっとあんしんサロン

参加申し込み不要 13時30分～15時30分

高齢期を迎える健康や暮らし方の不安、介護をしている心の悩みなど、日頃の思いを気軽に語り合いませんか。「能美市介護を考える会」会員がスタッフとしてお待ちしております。どなたでも気軽にご参加ください。

開催日	開催場所
毎月第2水曜日 (9月9日(水) 10月14日(水) 11月11日(水))	ふれあいプラザ

これからの予定 令和2年9月～11月

9月25日(金)	第16回 能美市社会福祉大会 能美市社会福祉功労者等表彰を行います。 (辰口福祉会館)
10月1日(木)～ (それぞれ全3回)	地域福祉委員会活動ヒント探し講座[入門編] 〃 [実践編]
10月1日(木) ↓ 12月31日(木)	赤い羽根共同募金運動開始 (能美市共同募金委員会)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止・延期となる場合もあります。

能美市社会福祉協議会会員会費募集

前月号でもお知らせしましたが、会員会費募集の取り組みが9月より始まります。

支えあいの活動を進めている社協への会員会費の納入に、ご協力をお願いします。

詳しくは、全戸配布されました募集チラシをご覧ください。

寄付金御礼 令和2年5月20日～8月19日 ありがとうございます

- ・能美市ふるさと交流研修センター 職員一同
- ・能美市老人クラブ連合会 寺井支部
- ・匿名2件

(敬称略)



2
情報

福祉協力校活動連絡会 ～福祉教育の推進～

8月18日(火)寺井地区公民館大ホールにて、市内全小・中・高等学校の福祉教育に係る担当教員と地域のボランティア活動者の方が集まり、学校と地域の連携による福祉教育の大切さについて学びを深めました。金沢星稜大学教授 池田幸應氏より、「地域環境を活かした人づくり」と題し、学校とボランティアの連携した実践例から、児童・生徒の地域の中での取り組みについてお話しされました。また、グループワークでは各学校の取り組みや協力したい地域ボランティア活動についての熱い思いを意見交換し、互いに理解を深めました。

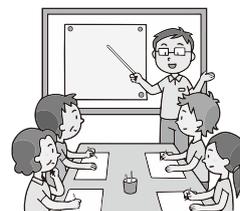


3
情報

企業等の地域貢献やボランティア活動についての企画のご相談を受けています!

企業や事業所等での地域貢献活動やボランティア活動の内容や活動先、研修等の講師の紹介・斡旋を行っています。是非ご相談ください。

- いろいろな地域貢献活動について
- 企業が出来るボランティア活動について
- 地域の福祉を理解する
- 認知症を支える活動について
- 退職後のいきいき生活のためのボランティア入門
- フードドライブから見る地域貢献について
- 聴覚障がい者の理解と手話について
- 災害ボランティアについて
- 傾聴ボランティアについて … など



職員・従業員研修の一環として、ご活用ください。

東レ労働組合石川支部「一歩」で寄贈式

7月20日(月) 東レ労働組合石川支部が北陸ブロックで集めた「愛の1円玉募金」21万円を、NPO法人能美市作業所連合「一歩」(宮竹町)へ寄贈されました。

一歩では「ランチ皿や介護用食器」、「介護ベッド」、「浴槽の手摺」を購入され、施設利用者からは感謝の言葉が述べられました。



プルタブ収集のご報告

いつもたくさんの団体や個人の皆さんからご協力いただき誠にありがとうございます。

プルタブの収集にご協力くださった方々を一部紹介します。(令和2年4月6日～令和2年8月1日の期間)

宮竹保育園 1.7kg、和気小学校 14kg、福岡保育園 7kg、岩内リサイクルセンター 26kg、辰口保育園 5.75kg、個人(匿名希望) 5kg(敬称略・順不動)

プルタブ以外にも、バルマーク、古切手、使用済みインクカートリッジ等も集めています。ご協力をお願いします。

持ち込み場所

能美市社会福祉協議会(ふれあいプラザ)、白寿会館、亀齢荘、G-Hills(ジーヒルズ)に収集ボックスを設置しています。

お知らせ

〈エコキャップ受入れ中止について〉

エコキャップの届け先であるNPO法人能美市作業所連合「一歩」がコロナ禍の中、受け入れを一時休止していることから、本会のエコキャップの受け入れも一時休止させていただきます。再開については本会ホームページにてお知らせ致します。ご理解のほどよろしくお願い致します。



地域で暮らす一員として、だれもがボランティア活動を行いたいものです。できることをできるだけ!

能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センター 「ボランティアセンター」だより

最新ボランティア登録数
(R2.8.1現在)
2,326人(個人も含め)
94グループ

こちら側からの2ページは、ボランティアに関する活動報告や、“知って得する、役立つ”情報を掲載しています。皆様からのご質問にもお答えしますので、どんどんホットな情報やお声をお寄せください。

1
報告

能美市ジュニアボランティアクラブ 参加者募集のお知らせ

今年度もジュニアボランティアクラブを行います。例年は市内高齢者施設での利用者の方とのふれあい交流や歳末募金活動を実施していましたが、今年度は、コロナ禍の中で、今できるボランティア活動を行います。共に考え、楽しく活動してみましょう! 詳細・内容は学校から配られるチラシをご確認いただき、お好きなプログラムを選び、学校へ申し込んでください。たくさんのお応募お待ちしております。

- 対象** 市内小学生(1~6年生)とその保護者
(保護者との参加を基本とします)
- 日程** 10月~12月の土曜日 1~2時間程度
(詳細については案内チラシをご覧ください)
- 申込** 各学校へ申込用紙を提出してください



利用者さんとのふれあいや、障がいへの理解(アイマスク体験)を楽しく学びました。(昨年度の様子)

※令和2年9月1日現在の予定となります。今後の予定につきましては、変更もありますことをご了承ください。

地域福祉推進の マスコット

“のみんちゃん”の着ぐるみを リニューアルしました♡

能美市地域福祉活動計画のシンボルである“のみんちゃん”は、福祉をハート形で表されており、平成20年に市民公募で誕生してから今日まで、さまざまな事業・イベントに、愛らしい姿で登場してくれています。

近年、経年による劣化が見られ、修理も難しくなってきたことから、今年度、市社協誕生15周年記念として新しい着ぐるみを製作することとなりました。これからも「みなさんが、仲良く助け合って、元気に暮らせるように」PRを続けていきたいと思えます。

“のみんちゃん”を見かけたら、ぜひ「のみんちゃん♪」と、声をかけてくださいね。



社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

✉ nomi@nomi-shakyo.jp
ホームページ <https://www.nomi-shakyo.jp>

〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1 能美市ふれあいプラザ 2階

- 法人事務局 (☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250)
- ボランティア・コミュニティ活動支援センター (☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250
ホームページ <http://www.nomi-shakyo.jp/vc/>)
- ファミリー・サポート・センター (☎ 0761-58-6230 FAX 0761-58-6250)
- ぐらしサポートセンターのみ (☎ 0761-58-6603 FAX 0761-58-6733)
- 能美市社会福祉協議会 能美居宅介護支援事業所 (☎ 0761-58-6005 FAX 0761-58-6733)
- 寺井あんしん相談センター (☎ 0761-58-6117 FAX 0761-58-6733)
- 能美市老人福祉センター 白寿会館 (☎ 0761-55-3149 FAX 0761-55-3149)
- 能美市寺井老人福祉センター 亀齢荘 (☎ 0761-57-2323 FAX 0761-57-4585)



社会福祉協議会を語る不審電話にご注意ください。万が一、不審な電話に遭遇した時は、本会までご一報いただけると幸いです。